

答 弁 者	質 問 項 目	関係部課
<p>保健福祉部長 しらかわ けんいち 白川 賢一</p> <p>知 事 たかはし 高橋はるみ</p>	<p>四 医療費適正化計画について</p> <p>次に、医療費適正化計画についてであります。</p> <p>道は、道民の高齢期における適切な医療の確保を図る観点から、生活習慣病の予防対策をはじめとして、在宅医療や地域ケアの推進による平均在院日数の短縮など、総合的に医療費の適正化を推進するため、平成20年に「北海道医療費適正化計画」を策定されております。</p> <p>この計画の期間は、本年度までとなっていることから、現在、平成25年度から平成29年度までを計画期間とする第2期計画の策定に取り組まれており、先に、現計画の進捗状況の把握や評価、今後の対応方向について、取りまとめられたものと承知しております。</p> <p>そこで、伺います。</p> <p>(一) 現計画の進捗状況について</p> <p>先に、道が示された現計画の進捗状況などでは、道民の健康の保持の推進に関する取り組みとして、特定健康診査等の企画や評価、保健指導を担う実践者を育成するための研修など、保健事業の人材育成事業などに取り組まれているとのこととあります。</p> <p>しかしながら、例えば、生活習慣病の予防対策として実施している、特定健康診査の実施率を見ると、全国では目標値の70%に対して、平成22年度の速報値では43.3%、また、本道では目標値の68%に対して、同じく速報値で30.3%となっており、いずれも目標を下回っている状況であります。</p> <p>現計画に定められた、その他の目標を含めて、その達成は極めて厳しいものと考えます。</p> <p>このような、現行の医療費適正化計画の進捗状況について、知事は、どのような認識をお持ちなのか、所見を伺います。</p> <p>(二) 第2期計画の策定について</p> <p>また、現在、策定に取り組まれている第2期計画については、現計画の進捗状況などを踏まえて策定されるものと考えます。</p> <p>そこで、新たな計画の内容は、より実効性のあるものとするべきですが、今後、道として、どのように取り組まれようとしているのか、知事の所見を伺います。</p>	<p>保健福祉部 健康安全局 国保医療課</p> <p>〃</p>

		答弁者	保健福祉部長
質問者	公明党 吉井 透 議員	旭川市	
所 管	保健福祉部健康安全局国保医療課		

四 医療費適正化計画について

(一) 現計画の進捗状況について

先に、道が示された進捗状況などでは、特定健康診査の実施率を見ると、国は目標値の70%に対して43.3%、道は目標値の68%に対して30.3%など、計画に定められたその他の目標を含めて、その達成は極めて厳しいものと考え。このような状況について知事はどのような認識をお持ちか所見を伺う。

計画の進捗状況についてであります

○ 道としては、道民の高齢期における

適切な医療の確保を図る観点から、

生活習慣病の予防対策及び在宅医療や地域ケアの推進による平均在院日数の短縮などにより、医療費の適正化を総合的に推進する必要があると考え、医療費適正化計画を策定したところ。

○ こうした中、保険者及び市町村において、

特定健康診査等の実施率の向上や

平均在院日数の短縮に努めてきているが、

いまだ取組みが十分でない面もあり、目標を下回っているところ。

○ 道としては、今後とも、特定健診制度の周知や

未受診者への勧奨の実施、保健師・管理栄養士等の人材育成、

在宅医療を担う医療機関等の整備充実などに向け、

保険者や市町村に対する支援に努めるなどして、

本計画の目標達成に向けて取り組んでまいりたい考え。

		答弁者	知 事
質問者	公明党 吉井 透 議員	旭川市	
所 管	保健福祉部健康安全局国保医療課		

四 医療費適正化計画について

(二) 第2期計画の策定について

第2期計画については、現計画の推進状況などを踏まえて策定されるものとする。
 そこで、新たな計画の内容は、より実効性のあるものとするべきですが、今後、道として、どのように取り組まれようとしているのか、知事の所見を伺う。

第2期計画についてであります

- 道では、計画の策定にあたり、
 市町村、医療関係者や保険者などで構成する
 「北海道医療費適正化計画検討協議会」を本年5月に設置し、
 これまで、現計画の推進状況などについて検証を行ってきたところ。
- 今後は、国から示される基本方針に基づき、
特定健康診査等の実施率や平均在院日数の短縮などの
達成すべき目標の設定や

新たに盛り込むたばこ対策などについて
 ご協議いただくこととしており、

現在、策定を進めている健康増進計画や医療計画とも
 調和を図りつつ、本道の実情を踏まえた
 実効性のある計画の策定に取り組んでまいりたい考え。